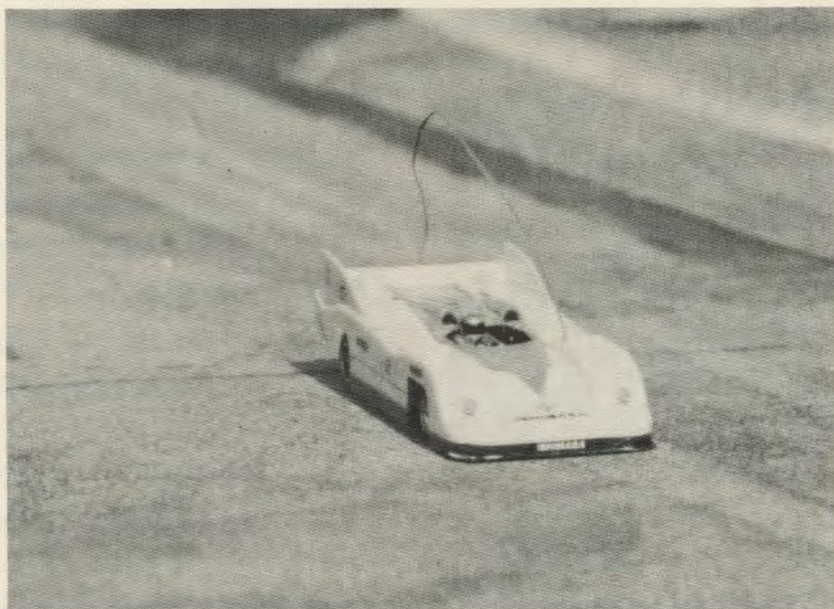


光市医師会報

昭和55年9月発行

No. 97



レーシングカー

五 嶋 武先生

光 市 医 師 会

医師会月間行事

◎定例理事会

9月9日(火) 午後7・30

光市医師会館

○報告事項

1. 老人健診、循環器健診の契約
2. 山口県患者調査の実施について
3. 昭和55年度乳児一般健診の委託料単価について
4. 山口県看護協会の会館建設の趣意書について
5. 小さな親切運動の会加入依頼について
6. 青少年育成の市民会議について
7. 体育大会、永年勤続表彰式開催の概要
8. 市議会の一般質問の件について
9. 総合リハビリ病院開設の件

◎9月定例会

9月25日(木) 午後7・30

光市医師会館

○報告事項

1. 医師会長会議報告
 - ㊦ 11月16日 55年度医学研修講座に光医師会より10名以上出席願いたい。10月31日まで、昼食は1000円。
 - ㊧ 県医と県衛生部等との会合 衛生懇話会合年5回位開催の予定。
 - ㊨ 収益事業の法人税の課税の問題
 - ㊩ 52年度医事紛争の統計
 - イ. 多発地 西高東低

ロ. 弁護士料

㊤ 新規開業の保険指導

- イ. 保険診療のルールを守って欲しい。
- ロ. カルテの記載
- ハ. 処方の方方
- ニ. 第二薬局の問題
- ヘ. 臨床検査センター
 - 拡充の方針
 - 民間の検査センターとの関連協議会 10月10日 防府
- ト. 労災保険の特別加入が可能
 - 医師と家族の特別加入を認める。
- チ. 医療情報システム端末機設置計画の進行状況
 - 56年4月1日から稼動
 - 将来の予想や計画は実績を見て決める。
- リ. 学校医大会 山口市にて
- ヌ. 患者調査に協力依頼の件
 - 10月15日(水) 1日だけ
- ル. 徳山保健所から医療監査
 - 9月16日から10月30日まで光市は3~4ヶ所 主として放射線関係 4~5日前に連絡ある由
- ヲ. 労務担当理事協議会
 - 事務手続等講習会等逐次行う予定(来年4月から)
- ロ. 光リハビリ総合病院開設の動きについて

会報委員会報告

昭和55年度医師会役務分担が4月に決められて、初の会合を9月16日(火)6時30分より、下松の幾久屋ホテル於いて、委員6名、全員出席の上行った。

情報交換、意見討論の上、下記のような点で意見の一致をみた。

1. 今年度は現在の光市医師会報を大体そのままの形式で継続する。
2. 従って、対外的に(医師会以外に)配布することはない。
3. 表紙の写真も好評なので、同じ会員が2~3度と重なることがあっても続ける。各委員割当てで各月を分担する。
4. 理事会、例会、研修会等の記事をもうすこし詳しく記載する。
5. 間もなくNo.100になるので記念号とする。

前元会長に記事を依頼する。

6. 再三会合を開いて意見を交換し、医師会報の充実に努力したい。等々。

これからも会員の皆様に重ねて記事や写真等お願いに参ると思いますが、何とぞ宜しくお願いの程お願い申し上げます。

My Hobby

ラジコン 五嶋 武

とくに趣味といったものではありませんが、ラジコン(それも車の)をわが家の屋上で楽しんでおります。いまのところ、屋上のコンクリートに水性塗料にてコースをえがき、その上を走らせているわけですが

時速40km/hはだせる車ですので、最初のうちはコンクリートの支柱に激突させては破損し、バカにならない修理費がかかっておりました。

最近やっと、コースの上をスイスイとはいかないまでも走らせることができるようになり、私より技術レベルの劣る妹や、時折遊びにくる甥っ子を相手に、ひとり満足しております。

スケールスピードは約200km/hに相当するとのことで、ラジコンをやったあとは、本物の車の運転が乱暴になってまっ



書評

『病める老人を地域でみる』
前田信雄著

高齢化社会とエネルギー危機の時代だけは近い将来確実にやってくる、その高齢化社会の中で老人が如何に自立心があっても、老化により心身が大きく衰えてくるとだれかに依存せねばならなくなる。従来の「行き過ぎた」収容主義は老人ケアの理念に背馳するのみでなく、低経済成長下では社会保障にも当然限度がある。その反省から著

者は「施設に於けるケアと、家庭における家族によるケアを一つに統一した概念」として、地域ケアを意義づけしている。その理念に基づき、家族をも含めての新しい福祉体制としての施設ケアと家族ケアの中間的運営であるデイケア (DAY Care 適当な日本語がない) を意図している。その実際の運営として、デイセンターとデイホスピタルを企画し、更にデイケアでなお不十分なケースに対しては、特別養護老人ホームなどにおけるショートステイシステムの採用を考えている。それらのためのニードの調査研究を丹念に記載し、更に地域に出る寝たきり老人の訪問看護にまで言及し、そのモデル的運営をしている、東村山市の老人福祉事業を詳しく紹介している。

著者は医療経済や社会保障の専門家であるだけに、本書の中にもそういう記載が随所に見える。例えば、我が国の寝たきり老人は諸外国に比べ高率である。だれしもまず脳卒中とゆう身体的要因をあげるが、著者は社会的経済的要因を大きく取り上げ詳細に説明しているのは面白い。

医療と福祉の両方の立場から、著者は「今日、ねたきり老人約40万、一日の老人受診患者300万人とゆう膨大な老人医療の需要事態の中で、どこかがどちらかに老人患者をおしつけて事がすむようなことではなくなったのである。入院サービスは、本当に必要かつ効果がある老人だけにする。そして大幅に外来と往診、又、デイケア、訪問看護を充実させるコミュニテイケアの拡大をもってこそ、この事態に立ち向うことが出来る。今後、さまざまなコミュニテ

ィケアが医療と福祉、そして公衆衛生との協同によって地域に確立されていかねばならない」と述べている。

今後、厳しい高齢化社会を迎えるに当り、文献の出所も懇切にいねいであり、老人の保健福祉に携わる者だけでなく、自分自身のよりよい老後の社会をいかに築くかという意味でご一読をすすめる。

垣内出版 1979年刊 四六判
308頁 1800円

あとがき

そこいらの若いのが、ラジコンのレーシングカーに凝っても、フンと云った感じかもしれないけど、五嶋 武先生は学問のキャリアと云い、技術と云いベテランのドクターだし、お年も決して□□□ない。心が純粹できれいだから出来るのだと思う。もう一つ、8月に五嶋先生は結婚式を挙げたばかりの新婚ホカホカ、それとは知らずに不粹に原稿や写真を頼んで申し訳ありません。

みんな、いいなあ、いいなあと云ってるのが聞えますか？ 五嶋先生

発行所	光市医師会 TEL 0833 72-2234
発行者	大野宗二
編集者	会報編集委員会
印刷所	光市御崎町 中村印刷株式会社